

外部評価対応シート

|   |  |  |      |  |    |
|---|--|--|------|--|----|
| 担当部局名   | 市民生活部・協働推進課  |  |      |  |    |
| 施策名   | 施策74 男女共同参画の推進   |  |      |  |    |
| 施策の目的   | 男女それぞれの立場からお互いを尊重し、責任を分かち合い、性別に関係なく、社会のあらゆる分野において活躍することができるようにします。   |  |      |  |    |
| 検討する事項  | 担当課(部局)の対応   |  |      | 工程表  |    |
| 女性の社会進出の妨げになっている要因分析を行い、企業に対して積極的に広報をするなどの働きかけを行うことが必要である。    | いつまでに  | 平成28年度までに  | 26年度 | 商工会をはじめとした関係団体や経済産業振興課と協力し、要因分析の方法を検討する            | 年度 |
|   | どのような方法で   | 経済産業振興課をはじめとした関係部署と協力し、企業へ働きかけを実施していく。           | 27年度 | 経済産業振興課と協力し、企業への要因分析を行うとともに、優れた取り組みを紹介することを検討していく。 | 年度 |
|   | どうするのか   | 企業における女性の雇用を促進する                                 | 28年度 | 関係部局とも協力し、企業への働きかけや取り組み紹介を実施していく。                  | 年度 |
|   | 対応できない場合の理由、代替案  |  | 年度   |  | 年度 |
| 啓発講座への参加者が少ないことの要因分析を行い、企業、学校、市の行事などのタイアップによる企画の実施が必要である。     | いつまでに  | 平成29年度までに  | 26年度 | 啓発講座への参加者が少ないことの要因分析を行う。                           | 年度 |
|   | どのような方法で   | 企業、学校、関係部署とイベントの同時開催が可能か調整をする。また、効果的な啓発の仕方を検討する。 | 27年度 | 同じような日程や同じような内容の講座について、関係部署と協議を実施。                 | 年度 |
|   | どうするのか   | イベントの同時開催をするなどし、講座等の参加者数の増を目指す。                  | 28年度 | 予算計上をはじめ、次年度への準備を始める                               | 年度 |
|   | 対応できない場合の理由、代替案  |  | 29年度 | 講座、イベントの同時開催や効果的な啓発を実施                             | 年度 |
| 啓発事業以外の取り組み活動が脆弱であるため、施策指標の審議会等の女性委員の割合向上の実効性のある取り組みなどが必要である。 | いつまでに  | 平成28年度までに  | 26年度 | 各課における女性委員等の割合を分析する。                               | 年度 |
|   | どのような方法で   | 女性人材リストを積極的に活用し、担当課へ働きかけを実施していく。                 | 27年度 | 改善余地がありそうな所属へ対して、直接的に意見交換を実施する。                    | 年度 |
|   | どうするのか   | 審議会等における女性委員の割合を向上させる。                           | 28年度 | 関係部局とも協力し、女性委員の選任について依頼していく。                       | 年度 |
|   | 対応できない場合の理由、代替案  |  | 年度   |  | 年度 |
| 外部評価を通じて気付いた点(今後、行政評価をするにあたっての改善する点など)                        | 男女共同参画推進は協働推進課のみで対応できるものではなく、全庁を挙げて取り組むべき課題も多い。そのため、関係する部署への働きかけを強化するとともに、連携を図りながら協力して事業展開していくことが必要と考えられる。 |  |      |  |    |